

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	教育の方法・技術				
担当者氏名	美濃 守隆				
授業方法	講義	単位・必修	2単位・必修	開講年次・開講期	2年・春期

《授業の概要》

授業を創意工夫し、創造的に授業を構築することは、教師にとって重要な資質のひとつである。変化に対応できる子どもの育成には、教師自らが変化に対応できなければならない。本講義では、普遍的な教育方法から教授理論の変遷を概観する。次に、授業の創意工夫に必要な授業設計や授業分析、情報機器の活用、授業の評価法について学ぶ。さらに、授業研究や教材研究を通して実践力を身につける。

《授業の到達目標》

教員の中核的な業務である「授業」をどのように計画し、どんな実践をし、どう評価するのか。担当する教科の授業を具体的に構成し、実践できる方法と技術を身に付けることを目標とする。

《成績評価の方法》

定期テスト 70%、平常点 + レポート等 30%

《テキスト》

平沢茂編 2014年「改訂版 教育の方法と技術」図書文化社

《参考図書》

参考書：「小学校学習指導要領」「中学校学習指導要領」  
資料：授業時に配布する。

《授業時間外学習》

- ・これまで受けてきた授業を、指導する立場に立って振り返ってみる。
- ・授業の初めに予習・復習状況を確認する。
- ・レポート課題を通して、復習する。

《備考》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	授業における教師の役割	顕在的カリキュラムと潜在的カリキュラム、授業における教師の役割
2	教授理論と授業実践	戦後の学力調査と学習指導要領の変遷
3	教授理論と授業実践	教授理論の基本問題、授業の要素
4	教授理論と授業実践	学習指導の構成、児童理解
5	教授理論と授業実践	授業の技術化と芸術化
6	教授理論と授業実践	主体的な学び、個に応じた教育、個別化教育
7	教授理論と授業実践	チームティーチング、一斉授業と習熟度別授業
8	教材の活用と開発	主たる教材と教材基準、授業に生きる教材・教具
9	教材の活用と開発	学習指導における情報機器・教材の活用
10	教材の活用と開発	情報機器及び教材活用の実際
11	授業分析	主観的方法による授業分析
12	授業分析	客観的方法による授業分析
13	評価と測定	評価と測定、相対評価と絶対評価、形成的評価と授業分析
14	評価と測定	評価する側とされる側、通知表、学校評価
15	まとめ	学習の振り返りとまとめ